

マクドナルド(MCD)

【セクター】 レストラン

【市場】 NYSE

【企業概要】

外食で世界首位のハンバーガーチェーンで、ビッグマック、フライドポテトが看板商品です。短時間で気軽に食事を楽しむ「ファーストフード」で先駆、米国における「チェーンド・リミテッド・サービス・レストラン」の市場シェアは18.3%と圧倒的なトップを占めます（18年）。売上に占めるフランチャイズの比率は52%で同レストラン利益率が82.1%、自社運営店の比率は48%で同レストラン利益率は17.4%、米国売上が37%、海外売上が63%を占めます（18年）。

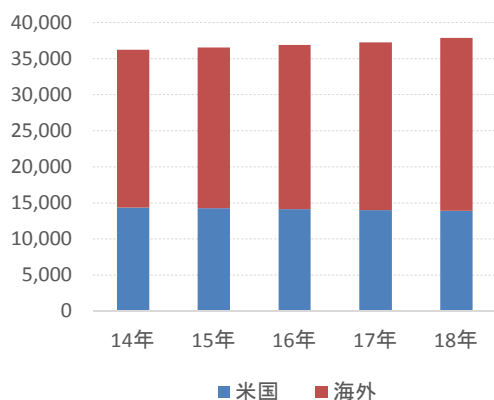
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	22,820	5,435	6.67	3.83	-4.1	-	-9.7
18年12月期	21,025	5,857	7.45	4.19	-8.2	-	-19.1
19年12月期予想	21,128	6,125	8.03	4.65	-7.4	-	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

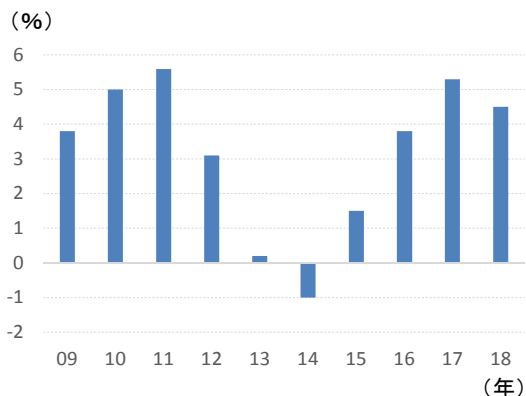
【主要指標】

図表1 店舗数の推移



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 既存店売上伸び率の推移



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

ユーロモニターの調査によると、同社が属する「チェーンド・リミテッド・サービス・レストラン」の市場は2009年から2018年に年平均成長率4%で拡大しており、依然としてGDP成長率を上回る伸びを示しています。成熟した米国でも店舗改装やメニュー強化など効果が現れて16年から既存店売上の回復が顕著となっています。さらに、モバイル注文や宅配強化による上乘せがあることから、既存店売上の好調は持続する見通しです。尚、売上が減少傾向となっているのは、自社運営店舗の一部をフランチャイズ化している影響を含みます。

【見通し・注目点】

4-6月期の世界既存店売上は前年同期比6.5%増で、1-3月期の同5.4%増から加速して好調を持続しています。米国の既存店売上は店舗の改装や「2 for \$5 Mix and Match」のキャンペーンが奏功して同5.7%増と1-3月期の同4.5%を上回りました。海外の自社運営部門は英国、フランス、ドイツなどが牽引して前年同期比6.6%増、海外のフランチャイズ部門も全地域で増加して前年同期比7.9%増と好調です。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/9/18)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。